



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年03月25日 第912号「週刊五十嵐レポート」

業績は社長で決まる、知らなかった。

日曜TBS「がっちりマンデー」に龍角散が登場。95年父親から社長に。当時、売上40億円、借金40億円。そこで役員たちは、市場規模の大きい風邪薬や胃腸薬分野に進出を提案、社長は反対。市場規模が大きいということは競合も多い。当社はやってはいけない。その代わり、社長は龍角散に経営資源を集中。龍角散のど飴、服薬ゼリーを開発。役員は猛反対だが、社長は断行してヒット商品に、今は年商200億円で無借金。

業績の96%以上は社長の戦略実力で決まると言われている。自社の経営力と競争相手の力関係を考えた上で、自社にふさわしい目標を決め、目標を効果的に達成するやり方の戦略を考え、実行に移すための仕組みを作るのが社長の仕事。

経営を勉強するまでは、社長が業績の96%以上責任があるとは知らなかった。業績の大半は従業員の働きだと思っていたという社長は存在する。

寿司店を4店舗を運営している社長、「以前は業績の大半を従業員の働きに負うもの考えていた。そのため、従業員の顔色を伺ったり、媚びていた。辞めないように、給料を気にしていた。しかし、業績は社長で決まるんだと腹を決めてからは、従業員に媚びることはなくなった。自分が戦略実力を高め、高度の仕組みを作れば、腕のいい職人はいない。普通でいい。自社で教育訓練していけばいい。気が楽になった」。

卸会社の社長、「以前は、社長が経営を勉強するものだとは考えていなかった。従業員を教育すればいいと思っていた(戦術)。大きな赤字を出して目が覚めた。社長がレベルを上げなければ(戦略)、いい会社にはならない」。

若い社長、「勉強していると、何が良くて、何が悪いか、解ってきた。強者、弱者も解るようになってきた。年長者が言っている事が間違っていることを『間違っている』と言えるようになった」。

今は実力がなくても、日々学び実践していけば、いつれ実力はつく。

何をしてはいけないのか。何をすべきか。見極め。積み重ねていくしかない。

ちょっと
気になる出来事

3月21日(木)、イチローが引退した。会見で、印象に残った言葉。

「人より頑張ることなんてとてもできない。あくまでも『はかり』は自分の中にある。自分なりにその『はかり』を使いながら、自分の限界をみながら、ちょっと超えていくということを繰り返していく。そうすると1つの間にかこんな自分になっているんだという状態になる。

少しずつの積み重ねが、自分を超えていく。一気に高みに行こうとすると今の自分の状態とギャップがありすぎて、それは続けられないと考えるので、地道に進むしかない。進むだけではない。後退もしながら、後退しかない時期もあると思うので、自分がやると決めたことを信じてやっていく。でも、それが正解とは限らない。間違ったことを続けてしまっていることもある。そうやって遠回りをすることでしか本当の自分に会えない。そんな気がしている」

体力の限界とか打てなくなったとは決して言わなかった。

1年間やっていなかったブランクが大きかったのだろう。

94年暮れ(大阪在住)神戸のベイサイドに立っていたら、イチローが目の前を通った。21歳の青年がもう45歳。すごい選手になったもんだ。



一口メモ
知識

不完全だからこそ仕事がある

仕事は、どんなときでも、どんなところにでもあるものです。

いまここで何をすべきかは、その時空関係で成り立っているのです。

それが仕事になります。

そもそも人間は、不完全です。自分にいろいろなものが必要なのに、自分では獲得できません。

だから、できる人にやってもらって自分がお返しをする。

能力のやりとりをする。

そこに仕事がたくさんなるのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

Tel.03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

